

事務事業名		勤労青少年ホーム運営事業			会計	一般会計					
事業種別		政策			開始		終了				
課等名	公民館	係等名	管理係								
基本計画上の位置づけ	政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり								
	施策	28	学習交流活動の推進								
目的	対象(誰・何を)	勤労青少年ホーム利用対象者				対象指標	指標名及び単位		24年度数値		
	意図(どうい状態にするか)	・勤労青少年等を対象とした学習活動や余暇利用活動を支援し、次代を担う若者の定住を促進する。					18歳～30歳迄の男女の人口(人)				
	向上させたい上位施策の成果指標	学習活動を行っている市民の割合					青少年ホーム利用登録者数(人)		276		
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	勤労青少年ホーム利用者数(人)			9500	6451	9500	9500			
	定性目標										
	事業概要	<p>勤労青少年ホームは、地域の将来を担う若者が余暇や休日を利用した活動を通じて友情を深め、知性を磨き、よき社会人、地域のよき担い手として成長を図る場であり、サークル活動、教養講座、利用者会活動を三本柱に据え、運営していく</p> <p>1 教養講座の開設 2 シニアを対象とした昼間の講座の開設 3 利用者会による特別教養講座の実施 4 ニート対策事業の実施</p>									
24年度事業内容	事業内容				名称			活動指標			
	1 勤労青少年余暇利用の推進 (1) 前・後期教養講座の開設 (2) 特別教養講座の開設 (3) グループ活動の育成				登録者数 前・後期教養講座 (1)講座数 (2)延べ受講者数 特別講座参加者数 クラブサークル数			276人  23講座 1,535人 103人 11団体			
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		7,155	7,376	7,376	7,573	〔24特定財源〕 青少年ホーム講座受講者負担金 315千円					
国庫支出金											
県支出金											
起債											
その他		226	221	315	234						
一般財源		6,929	7,155	7,061	7,339						
人件費計(千円)②		0		0							
正規職員所要時間											
臨時職員所要時間											
総事業費①+②		7,155	7,376	7,376	7,573						
事業内容・目標達成状況の振り返り	後期教養講座を大幅に見直し、ホームページから講座申込み可能とし、積極的に広報を行ったことにより、講座受講者が増加した。										
改革改善の考え方	①問題点	施設利用者の減少									
	②改革提案	告知、講座内容を更に見直し参加したくなる講座を実施する。利用対象世代へのアンケート調査を行い、要望の把握と施設・事業の広報を行う。ニート対策事業により新たな役割を創出する。									